

前回定例会(平成22年8月4日)以降の行政の動き

平成22年9月1日
新潟県

1 安全協定に基づく状況確認

○平成22年8月10日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1号機取替用燃料検査の状況

2 技術委員会の開催

[設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

○平成22年8月11日(第43回)

<議事概要>

【5号機の議論の状況について】

- ・ 5号機に係るこれまでの議論の状況を整理した資料について、事務局から、前回の議論を踏まえて加筆・修正した点を説明し、概ね了承されました。
- ・ 追加質問があれば、事前に提出の上、次回議論することとされました。

【3号機設備の点検状況について】

- ・ 東京電力から、これまでの機器・配管系の点検状況として、主要設備の点検結果及び地震の影響により発生した主な不適合について説明がありました。

○平成22年8月30日(第44回)

<議事概要>

【5号機の健全性評価について】

- ・ 委員の追加質問に対する回答として、東京電力から、耐震壁のひび割れ評価に適用した指針等に関する補足説明があり、委員からは、当該指針を適用した根拠について追加の説明を求める意見がありました。
- ・ 同様に追加質問に対する回答として、東京電力から、配管支持装置の地震後の変位に関する補足説明があり、委員から、当該変位を測定した結果は、地震の影響を評価する指標になり得るのではないかとの意見があった一方で、この結果だけでは判断できないとの意見がありました。

【5号機の議論の状況について】

- ・ 本日の議論を踏まえ、事務局で加筆・修正して、改めて確認することとされました。
- ・ 委員から、国の審議会での議論のあった原子炉格納容器スタビライザの耐震強化に関して説明を求める意見があり、次回議論することとされました。

3 その他

(1) 発電所周辺環境監視結果の評価について

○平成22年8月26日: 報道発表

新潟県では、柏崎刈羽原子力発電所周辺地域の放射線及び温排水の影響を把握するための調査を実施しております。

21年度の調査結果について、専門家等で構成する新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議において総合評価を受けましたのでお知らせします。

1 開催日時 平成22年8月25日(水曜日) 午後1時30分から

2 開催場所 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県自治会館別館ゆきつばき

3 議題及び評価結果

(1) 平成21年度の環境放射線監視結果の評価について

評価案について、別紙1※のとおり了承されました。

なお、委員から評価案に説明を追加した方がわかりやすいとの意見がありましたので、事務局で修正のうえ再度公表します。

県民意見と対応案について別紙2※のとおり了承されました。

(2) 平成21年度の温排水等漁業調査結果の評価について

評価案について、別紙3※のとおり了承されました。

県民意見と対応案について別紙4※のとおり了承されました。

※別紙1～4は以下のホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1282766523391.html>

【参考】

○別紙1「平成21年度環境放射線監視調査結果の評価案」から一部抜粋

平成21年度に実施した発電所周辺の環境放射線監視調査結果からは、問題となるような測定値は認められなかった。

また、発電所からの放出実績から推定した周辺公衆の受ける実効線量は、法令で定める線量限度はもとより、線量目標値と比較しても無視できるほど小さかった。

以上のことから、平成21年度において発電所からの周辺環境への影響は無視できるものと判断した。

○別紙3「平成21年度温排水等漁業調査結果の評価案」から一部抜粋

平成21年度の温排水等漁業調査結果によると、温排水と思われる水温上昇域は、南放水口を基点として最大7.3kmの範囲であった。また、物理的および生物的環境調査結果を過去と比較して特異な傾向は認められなかった。

なお、温排水が漁業ならびに海生生物に及ぼす影響については、生物的環境および漁業資源等の経年的な自然変動もあることから、今後も調査を継続し、長期間にわたる情報の蓄積を図り検証する必要がある。

(2) 県モニタリングポストにおける不適切なコメント表示に関する改善策

○平成22年8月26日：報道発表（第4報）

県が柏崎刈羽原子力発電所周辺に設置している放射線自動観測局（モニタリングポスト）の電光表示板で、プログラムの設定ミスにより、不適切なコメントが自動表示されていたことを受け、県では改善策を検討してまいりました。（平成22年7月28日お知らせ済み）

その結果、モニタリングポスト電光表示板のコメント機能だけでなく、ホームページの表示方法等も含めた改善案（別紙資料）を作成し、8月25日に行われた「柏崎刈羽原子力発電所周辺環境監視評価会議」において、委員からご確認をいただきました。

今後県では、委員からいただいた意見をふまえて改善策を確定し、取り組みをすすめてまいります。

(3) 発電所構内（屋外）における火災の発生

○平成22年8月23日：報道発表（第1報）

本日11時40分頃、東京電力から柏崎刈羽原子力発電所の固体廃棄物貯蔵庫脇の屋外で、保管していたおがくずが燃え、現在消火中との連絡がありました。

なお、県が実施している発電所周辺の環境モニタリングでは、異常は認められていません。

○平成22年8月23日：報道発表（第2報）

先ほどお知らせした、東京電力柏崎刈羽原子力発電所敷地内の屋外で、保管していた木くずが燃えた火災ですが、12時40分柏崎消防により鎮火を確認したとの連絡がありました。

なお、県が実施している発電所周辺の環境モニタリングでは、異常は認められていません。

また、原子力安全・保安院によれば、外部への放射能の影響はなく、避難等の必要はないとのことです。

○平成22年8月24日：報道発表（原因と対策の報告要請）

柏崎刈羽原子力発電所構内で昨日発生した火災について、県はただちに原因と対応状況を調査し、報告するよう東京電力に口頭で求めたところですが、本日、あらためて文書で要請しました。

平成22年8月24日

東京電力株式会社 柏崎刈羽原子力発電所
所長 横村 忠幸 様

新潟県防災局長

平成22年8月23日に柏崎刈羽原子力発電所構内の木くず置き場から発生した火災について、火災の原因と対応状況について報告を求めます。

(4) 5号機運転再開の申し入れ（平成22年8月31日）

森副知事が、東京電力の鼓副社長から、5号機の運転再開について申し入れを受けました。